

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	908 消防団管理運営事業					
予算科目	01-090102-11 非常備消防運営に要する経費			担当部課	消防本部地域消防課	
市長公約				係名	消防団係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	消防組織法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	消防団員
目的	消防団の円滑な運営を図り、市民の安全・安心に寄与する。
概要 (取組内容)	消防団員の名簿管理、福祉共済、報酬、出動手当等の事務を実施する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	150,915	146,252	147,505	147,505	
	決算額	(千円)	108,690	137,946	117,894	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	81,336	112,654	100,701	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	27,354	25,292	17,193	0	0
人件費	人件費計	(千円)	8,583	8,602	5,222	5,222	4,784	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.20	1.20	0.70	0.70	0.70
		正職員時間外勤務	(時間)	180.00	180.00	180.00	180.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	消防団員数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0
	実績	1,049.0	1,021.0	998.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	6支団（女性分団含む）						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新入団員募集のポスター及びパンフレットを全分団に配布し、各分団で募集活動を実施した。	
成果	新入団員として24名の入団があった。	
課題	業務	消防団の充実・強化を図るため、各種事業を展開し団員確保に努めているが、近年の社会情勢の変化に伴い減少している。
	組織、予算等	特になし
改善目標	団員数が減少傾向のため、消防団の重要性や必要性の啓発活動を継続して行う。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	909 消防技術向上事業（各種訓練・操法大会）					
予算科目	01-090102-11 非常備消防運営に要する経費			担当部課	消防本部地域消防課	
市長公約				係名	消防団係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	消防組織法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	消防団員
目的	団員としての基礎知識の習得と、災害活動時の対応が迅速かつ安全で正確な動作ができるように各種訓練を計画し、士気向上を図る。
概要 (取組内容)	新分団長及び入団3年未満団員訓練(本部役員の指導)、幹部団員訓練(本部役員及び消防署員の指導)、消防ポンプ操法競技大会(各支団が訓練を実施し、県南北部地区ポンプ操法競技大会に参加)、秋季点検(各分団詰所及び機械器具の点検等)を実施する。また、応急手当指導員認定講習及び普通救命講習を受講する。消防団出初式では、永年勤続者等に感謝状の授与、消防団車両による観閲式を実施する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	16,041	15,533	16,580	16,580	
	決算額	(千円)	13,938	229	1,676	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	13,938	229	1,676	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	12,763	12,788	6,683	6,683	5,467	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.70	1.70	0.80	0.80	0.80
		正職員時間外勤務	(時間)	500.00	500.00	500.00	500.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	訓練参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	6,070.0	6,070.0	5,000.0	5,000.0	5,000.0	5,000.0
	実績	5,470.0	379.0	578.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	新分団長及び入団3年未満団員訓練、幹部団員訓練、消防ポンプ操法競技大会、秋季点検、応急手当指導員認定講習及び普通救命講習、出初式						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、まん延防止等重点措置等の期間中、各種訓練及び大会等は中止となったが、秋季点検と出初式については感染予防対策を徹底し実施することができた。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	910 自衛消防団運営補助事業					
予算科目	01-090102-11 非常備消防運営に要する経費			担当部課	消防本部地域消防課	
市長公約				係名	消防団係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	補助金（直接）	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	自衛消防団					
目的	自分の地域は自分で守る自衛消防団に対し、消防機器の点検整備、放水訓練、防災知識の普及・啓発等を実施し、有事の際は適切な災害活動にあたることができるようにするため。					
概要 (取組内容)	自分たちの地域は自分たちで守るという理念に基づいて、自治会等で組織された自衛消防団の運営と活動に対し、つくば市自衛消防団運営補助金交付要綱の定めるところにより、予算の範囲内で補助金を交付し、地域住民が安心して生活できる防火意識の高揚に寄与する。					

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	648	540	540	540	
	決算額	(千円)	540	468	432	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	540	468	432	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,357	1,360	684	684	684	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	自衛消防団補助金交付団体数 (団体)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	20.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
	実績	15.0	13.0	12.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	自衛消防団登録団体（15団体）に周知し、12団体から補助金交付申請書が提出された。申請のあった団体には実績報告書に基づき自衛消防団運営補助金を交付し、自衛消防団の充実・強化を図る。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	911 消防水利整備事業					
予算科目	01-090103-13 非常備消防施設に要する経費			担当部課	消防本部地域消防課	
市長公約				係名	施設係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	消防法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	消防職員、消防団員等
目的	消火活動に必要な消防水利の充実を図る。
概要 (取組内容)	火災消火時に必要な消火栓及び耐震性貯水槽の新設工事及び既存施設の維持管理を行う。 既存消火栓 2,476基、既存防火水槽 2,027基（令和3年4月1日現在）

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	84,622	78,691	67,767	67,767	
	決算額	(千円)	77,006	54,470	55,317	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	77,006	43,970	45,517	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	10,500	9,800	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,783	6,800	2,734	6,834	6,834	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	0.40	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	耐震性貯水槽新設数 (基)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	耐震性貯水槽の新設工事については、国庫補助金（消防防災施設整備費補助金）が採択されなかったが、1基設置することができた。	
成果	耐震性貯水槽1基（作谷地区）及び消火栓34基を新設した。また、防火水槽の修繕2基、消火栓の修繕9基を行ったことにより、災害に強い消防水利の充実・強化が図られた。	
課題	業務	老朽化した防火水槽が増えているため、維持管理に伴う補修工事をしていく必要がある。土地の利用や所有者の変更により、撤去の要望が増加している。
	組織、予算等	耐震性貯水槽の新設には、国庫補助金（消防防災施設整備補助金）を活用していきたいが、防火水槽の新設2基の要望であると申請額が補助金の交付決定を受けられる金額に満たないため、他課で同様の補助金を要望する際に一緒に申請を行っていく。
改善目標	消防水利の基準に基づき、耐震性貯水槽と消火栓をバランスよく配置し、現在の充足率（42.8%）を向上させる。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	912 消防施設維持整備事業(車庫・詰所等)					
予算科目	01-090103-13 非常備消防施設に要する経費			担当部課	消防本部地域消防課	
市長公約				係名	施設係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務(任意)	
				事業体制	一部委託	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	消防団員
目的	地域の災害活動等を行う消防団車両の保管場所及び分団員の災害対策拠点となる詰所等の良好な施設環境を確保する。
概要 (取組内容)	経年劣化に伴い、老朽化の著しい車庫及び詰所の改築及び維持管理を行う。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	52,511	50,941	31,621	52,511	
	決算額	(千円)	22,803	40,970	41,566	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	22,803	16,870	19,066	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	24,100	22,500	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,427	5,440	2,050	3,417	3,417	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.80	0.80	0.30	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	消防車両車庫兼詰所建築数 (棟)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1.0	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0
	実績	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	計画に基づいた車庫兼詰所の建設を実施することができた。	
成果	災害時に分団の拠点となる車庫兼詰所を神郡地区（筑波支団第4分団）に建設することができた。また、4施設の修繕を行い、良好な維持管理に繋がった。	
課題	業務	人件費や材料費の増加に伴い、建設費のコストが上昇傾向となっている。昭和56年以前の旧耐震基準で建てられたものが10棟以上あるため、年1棟ずつ計画的に更新を行う必要がある。
	組織、予算等	建設に係る人件費や材料費の増加が懸念される。
改善目標	なるべくコストを掛けずに建設を実施できるようにする。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	913 消防車両管理運営事業					
予算科目	01-090103-14 非常備消防車両に要する経費			担当部課	消防本部地域消防課	
市長公約				係名	施設係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	道路運送車両法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	消防団員
目的	市民の安全で安心なまちづくりを推進する。
概要 (取組内容)	消防ポンプ自動車の新規購入及び既存の消防自動車の維持管理を行う。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	46,704	47,485	46,967	46,967	
	決算額	(千円)	41,265	43,320	42,165	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	41,265	13,420	12,065	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	29,900	30,100	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,749	4,760	2,050	3,417	3,417	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.70	0.70	0.30	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	消防ポンプ自動車購入台数 (台)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	実績	2.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	消防団で使用する消防ポンプ自動車数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	消防ポンプ自動車2台を、普通免許保持者でも運転可能な3.5t未満の車両に更新することができた。	
成果	車両更新計画に基づき、消防ポンプ自動車2台の購入及び27台分の車両の車検を行ったことにより、消防団活動の充実強化を図ることができた。	
課題	業務	平成29年3月の道路交通法改正により、普通免許の車両重量制限(5t→3.5t)が変更になったことで、普通免許で運転できる車両へ変更せざるを得ない。
	組織、予算等	25年以上経過した車両が17台あり、修理費用が増加している。
改善目標	普通免許保持者でも運転可能な3.5t未満の消防ポンプ自動車を計画的に配備していく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続	
理由	-	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	914 水防訓練(水害対策) 事業					
予算科目	01-090104-11 水防訓練に要する経費			担当部課	消防本部地域消防課	
市長公約				係名	消防団係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務(義務)	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	水防法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	消防団員
目的	水防活動において、消防団員が安全に迅速かつ的確な行動がとれるようにするため。
概要 (取組内容)	水防訓練への参加及び水防団体との連絡調整を行う。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	3,575	2,857	3,081	2,493	
	決算額	(千円)	2,147	1,165	474	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,147	1,165	474	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,739	2,733	2,759	2,832	2,734	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	10.00	5.00	10.00	40.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	訓練参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	実績	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	利根川水系水防訓練、鬼怒・小貝水防連合体水防訓練						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、水防訓練は中止となった。	
課題	業務	水防訓練は参加人数に制限があり、すべての団員が参加できないため、参加できない団員を対象とした勉強会等を開催し、全団員へ水防工法等の知識を伝えていく必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	各支団の役員会等において、各分団の水防訓練経験者による勉強会を継続して実施するように依頼する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—